

<p>学校教育目標</p> <p>(1) 教養と技能を身に付け、目標に向かって主体的かつ誠実に行動する人を育てる。</p> <p>(2) 自他を尊重し、他者と協働して共に学び高め合う人を育てる。</p> <p>(3) 地域の産業や文化に関心を持ち、地域や社会に貢献しようとする人を育てる。</p>

<p>人権教育推進上の目標</p> <p>【基本目標】 さまざまな人権問題に対して正しい認識を持ち、人権問題を解決しようとする態度の育成</p> <p>【重点目標】</p> <p>(1) 教育活動全体における、系統的な人権教育の実施</p> <p>(2) 学社連携および保護者との連携による進路保障の実現</p> <p>(3) 教職員の人権意識の確立</p>
--

具体的目標・方策	
<p>① 子どもたち一人一人の学びの保障</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して学び合い高め合う集団づくり (いじめ防止の取組と早期発見・対応の徹底、安心して「わからない」と言える雰囲気づくり) ・わかりやすい授業づくり (ねらいと見通しの明示の徹底、習熟度別指導の実施、ICTによるサポート体制の充実、授業公開週間の実施など) ・特別支援教育の充実 (個に応じた適切な支援の提供、通級指導体制の確立、合理的配慮に基づいた支援体制づくり) 	<p>② 人権が尊重される環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心な学校環境づくり (校内の美化と掲示物等の整備や工夫、いじめ問題対策委員会の活性化、事故への対応、保護者・地域からの情報への対応) ・教育相談活動の充実 (日常の観察と声かけによる信頼関係づくり、SCの活用と連携、生徒支援委員会等による情報共有の推進) ・教職員集団づくり (教職員の良好な雰囲気づくりの取組、人権感覚を磨くための研修の充実)

生徒に身に付けさせたい資質・能力

③ 人権に関する知的理解と人権感覚の育成			
	人権に関する知的理解		人権感覚
	知識的側面	価値的・態度的側面	技能的側面
一年	・自由、責任、正義、平等、尊厳、権利、義務、相互の依存性、連帯性等の概念の理解	・人間の尊厳、自己価値及び他者の価値を感知する感覚 ・自己についての肯定的態度	・他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性
二年	・人権の発展・人権侵害者等に関する歴史や現状に関する知識	・自他の価値を尊重しようとする意欲や態度 ・人権侵害を受けている人々を支援しようとする意欲や態度	・人間関係のゆがみ、偏見、差別を見極める技能
三年	・自尊心・自己開示・偏見等、人権課題の解決に必要な概念に関する知識	・正義、自由、平等などの実現という理想に向かって活動しようとする意欲や態度 ・社会の発達に主体的に関与しようとする意欲や態度	・複数の情報源から情報を収集・吟味・分析し、公平で均衡のとれた結論に到達する技能
各教科	・適切な聞き方・話し方などの理解 ・多様な考え方を受け入れたり、協働したりすることの良さの理解 ・様々な人権課題の概要の理解	・多様性を認め合いながら学び合おうとする態度 ・科学的・論理的に思考しようとする意欲や態度	・能動的な傾聴、適切な自己表現を可能とするコミュニケーションの技能 ・情報を吟味・分析し、公平で均衡のとれた結論に到達する技能
特別活動	・多様な他者と協働する活動の意義や活動する上で必要になることについての理解	・異なる意見や考えをもとに、様々な解決の方法を模索したり折り合いをつけたりしようとする態度	・多様な他者を認め、助け合ったり協力し合ったり進んでコミュニケーションを図ったりする技能
総合的な探究	・様々な事柄や人の考えに出会い、それらが複雑に絡み合っている状況についての理解	・他者と協働し、異なる意見を生かして新たな知を創造しようとする態度	・複数の情報源から情報を収集・吟味・分析し、公平で均衡のとれた結論に到達する技能

